

西貝村誕生

明治維新前は

西貝塚<旗本 長谷川久三郎の領地>

西之島<旗本 斉藤佐源太の領地>

上南田<安倍豊後守忠秋の領地>

明治21年(1888) 郡制により

山名郡(西貝村等)豊田郡(見付町)

磐田郡(中泉村等)

<明治29年に3郡が統一

され磐田郡に>

明治22年(1889)

西貝村誕生 (自治制施行)

旧西貝塚(西貝塚・城之崎

安久路)・西之島・上南田

の3村が合併

初代村長 大杉善一郎

264戸 1392人

国鉄中泉駅開通

昭和15年(1940)

磐田町誕生

見付町・中泉町・西貝村

(磐田町大字)天竜村が合併

昭和23年(1948)

磐田市誕生 (市政施行)

現在の様な民主的な自治会

昭和32年(1957)

313戸 1950人

平成元年(1998)

1535戸 4266人

平成20年(2008)

2157戸 5567人

磐田ことはじめ(町内の風土記)より

その歴史と文化に恵まれた

西貝地区に住めることに感謝

し、郷土に誇りを持てるよう日々

精進していきたいものです。

そのためにも過去・現在から未来へと発展するであろう

西貝地区について知っておく必要があると思います。

(50年前の地図と比較できる人は、その実態を語ってください)

西貝地区自治会地図

